

フクロウのヒナ生中継

「我孫子市鳥の博物館」(我孫子市高野山)が市内に設置しているフクロウの巣箱で、1羽のヒナがすくすくと成長している様子がインターネット上で中継されている。ヒナはあと1週間ほどで巣立つと見られ、食欲旺盛なヒナのため、親鳥がとってきた餌をせっせと与える姿も見ることが出来る。(淵上隆悠)

巣箱は木製で、縦横約40センチ、高さ約90センチ。同館が2007年から、市内の森に設置しており、巣箱の

我孫子の博物館 ネットで 1週間ほどで巣立ちか

出入り口や中の様子を3台のカメラが映し出している。このうちの1台は巣箱の天井から中を見下ろす赤外線カメラで、薄暗い巣箱の中でもフクロウの様子ははっきりと映し出す。どこに巣箱を設置しているのかについては公表していない。

この巣箱からはこれまで、6羽のフクロウが巣立っており、今年4月26日に1個目の卵が、同29日に2個目が確認された。5月27日に1個目は孵化したが、2個目は結局はかえら



巣箱内のカメラがとらえたフクロウの親子の様子(我孫子市鳥の博物館ホームページから)

ないまま。それでも、生まれたヒナは巣の中を活発に動き回りながら、ねずみなどの餌をとってくる親の帰りを留守番しながら待っている。

最近では、新潟県佐渡市の放鳥トキのヒナの様子が同様にインターネット上で配信されて人気を集めているが、同館は「フクロウのヒナはぬいぐるみのように愛らしい。巣立ちまでをぜひ見届けてほしい」と話している。

巣箱をのぞくことが出来るホームページのアドレスは(<http://field.bird-museum.abiko.chiba.jp/>)。同館では、モニターで視聴することもできる。問い合わせは同館(04・7185・2212)へ。